



TSUGARU
うるし

※「TSUGARUうるし」
ブランドロゴマーク

りんご園などの農地に ウルシを植えてみませんか？

国宝や津軽塗に利用されるウルシ

- ◆国宝や重要文化財の補修に国産漆が使われることになり、国産漆の生産量増加が求められています。
※令和3年度現在、漆自給率は約9%。残り約90%はほぼ全て中国産漆が使用されています。
- ◆中南地域は、津軽塗があるように、古くから漆を使う文化が根付いていますが、漆を生産するための健全なウルシ林は多くありません。

 **日本の漆文化を守りたい！** 

農地にウルシを植栽していいの？

- ◆ウルシは特用樹なので、肥培管理を継続して行うことで、農地転用せずに植栽が可能です。
- ◆林地植栽に比べ、アクセスしやすい、管理がしやすい、将来の漆掻き作業がしやすいことが特徴です。

ウルシ植栽には準備が必要

- ◆樹の成長に伴い日陰が生じるので、隣接土地所有者から植栽の同意を得る必要があります。
- ◆植栽に適する土地かどうかを確認することをお勧めします。
※土地の特徴や周辺環境によっては、植栽できない場合があります。
- ◆苗木生産の状況によっては、苗木をすぐに入手できない場合があります。
※植栽予定地をモデル地として活用させて頂く代わりに、数量限定で苗木を無償で提供する取組を実施しています。（令和6年度まで）



まずはお気軽にご相談ください。↓↓

令和5年3月作成：中南地域県民局林業振興課

【問合先】 中南地域県民局 林業振興課 0172-32-1131（内線263）